

1. 平成 30 年度部門目標

- ・ 質の高い給食提供
- ・ 効果的な栄養指導
- ・ 他職種と連携した医療の質の向上
- ・ 具体的な業績目標を設定
- ・ 安全管理体制の強化

2. 業務体制・スタッフ

病院職員：管理栄養士 4 名（1 名再任用） 非常勤管理栄養士 2 名
 委託職員：管理栄養士・栄養士・調理師・調理補助員 計約 20 名

3. 業務実績

《給食実績》 給食提供数：114144 食（前年比-19.4%）

調乳本数：79556 本（前年比-0.6%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
提供食数 (特食・調乳併用含)	158337 食	146011 食	132229 食	141672 食	114144 食
特別食	42822 食	38200 食	32760 食	34495 食	32441 食
特別食割合	27.0%	26.2%	24.8%	24.3%	24.8%
調乳本数(小)	63956 本	70990 本	62381 本	64688 本	65093 本
調乳本数(大)	15259 本	10481 本	12453 本	15326 本	14463 本

《栄養食事指導（加算）》 指導件数：1732 件（前年比+7.4%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
入 院	792 件	662 件	591 件	612 件	692 件
外 来	1013 件	825 件	933 件	1001 件	1040 件
合 計	1805 件	1487 件	1524 件	1613 件	1732 件
1 栄養士当たり	300 件	212 件	305 件	330 件	297 件

《NST 加算》 算定件数：件（前年比%）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
算定数	309 件	341 件	4 件	107 件	203 件

4. 平成 30 年度の総括

昨年度に引き続き、栄養科の 2 大業務である栄養管理と給食管理の品質を向上するよう努め、試行錯誤に取り組み、僅かずつではあるが前進することができた年であった。一方で、厨房設備・機器類に経年劣化による不調が相次ぎ、対応に追われた 1 年でもあった。

栄養管理については、昨年度、業務整理によってマンパワーを捻出し、効率的な運用を目指した。これにより、各栄養士は担当分野において安定して業務を遂行できるようになったという印象がある。また、それぞれが集団栄養指導の企画や治療食の提供頻度向上のための運用構築など、発展的な業務に着手することもできた。

給食管理においては、例年実施してきた食事調査の範囲を小児科病棟まで拡大し、保護者の方からのご意見・感想など、有用な情報の入手経路を得た。また今年度は、各病棟における未消化の課題に加え、別途具体的な要望も複数あがってきた。そのうちいくつかは速やかに解決に至ったが、運用の見直しが必要な案件もあり、来年度の課題とせざるをえなかった。

5. 今後の目標

- ・栄養管理体制拡充
- ・質の高い給食提供
- ・安全管理体制強化

特に栄養管理においては、栄養士の全病棟配置が実現できる見通しがたっている。既に業務内容の整理にも着手しており、栄養士の病棟業務の標準品質として目安となる基準を設けたい。給食管理については、各栄養基準を見直し、改定作業に取りかかる予定としている。